感染症を予防するには、予防接種が有効です

子どもは病気に感染しやすく、感染すると重症化します。病気に感染しないように守ってあげることが大切です。

お母さんから赤ちゃんにプレゼントされた免疫力（病気に対する抵抗力）は、麻しん（はしか）では生後８カ月ころまでに自然に失われていきます。

ただし、母親からの免疫（移行抗体）が有効に働かない場合もあります。

この時期を過ぎると赤ちゃん自身で免疫をつくって、病気を予防する必要があります。そのために有効な方法が予防接種です。

最近、麻しん（はしか）の大流行、高知県内で百日咳の集団発生がありました。ウイルス・病原菌に免疫を持たない人は大人でも子どもでも感染します。

まだ残暑きびしく、蚊の多い季節です。蚊（コガタアカイエカ）に刺されると日本脳炎に感染する可能性があります。蚊に刺されないように注意しましょう。

また、日ごろから栄養・休養を十分にとり、体力を落とさないことも大切です。日本脳炎の予防接種は厚生労働省の勧告により、積極的な接種勧奨は差し控えていますが、希望すれば接種可能です。

詳しくは、健康づくり推進課（☎59－3151）までお問い合わせください。

障害者地域活動支援センター「香美」

ＪＲ土佐山田駅前の商店街にある、障害者地域活動支援センター「香美」をご存じですか？　同センターは、身体・知的・精神の３障害に対応し、障害者や保護者の相談に応じるほか、障害者の日中活動の支援をしています。

センターでは、相談支援専門員らのスタッフが、朝から訪れた利用者とともにオクラの袋詰めなどの生産活動に励んでいます（※７月下旬）。利用者の中には、家でずっといるよりも、外へ出ることで気分転換にもなるようで、楽しみに来てくれる方もいます。

ちょっとした相談などでもかまいませんので、センターをご利用ください。

※主な事業は次のとおり。

◆相談支援事業

日常生活や家庭、将来のことなど、どんな相談でもかまいません。

面接・訪問をご希望の方は、できるだけ予約をお願いします。

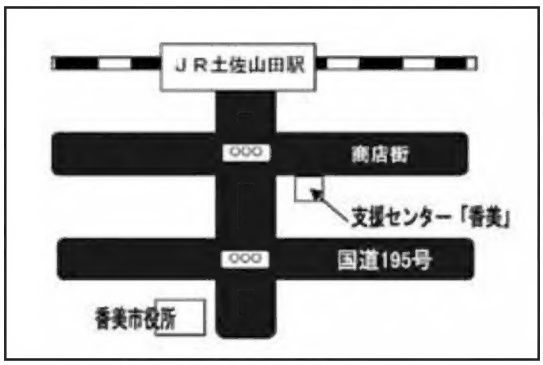
◆地域活動支援センター事業

・創作活動…絵画、ぬり絵など作品づくり

・生産活動等…就労に向けて生産活動に参加（オクラの袋詰め、アルミ缶回収など

※時期によりメニューが変わります

・その他…ビデオ上映、トランプ、体操など



【開設日時】月～金曜日（※祝日は除く）の９時～16時

※利用料は無料。

【問い合わせ先】

支援センター「香美」

☎・ＦＡＸ53－7077

※支援センターでは、お手伝いしていただけるボランティアを募集しています。話し相手をしたり、趣味を生かしたりなど、空いている時間を使って、できることでのお手伝いをお願いします。